# MATLAB

### The Language of Technical Comput-

Computation

Visualization

Programming



Installation Guide for PC

Release 12 (MATLAB 6 Family of Products)

#### サイバネットシステム株式会社との連絡法: 77 03-5978-5411 電話 03-5978-5440 ファクシミリ $\triangleright$ 東京都文京区大塚 住所 2丁目15番地6号 ニッセイ音羽ビル Web http://www.cybernet.co.jp **(**a) 営業部 infomatlab@cybernet.co.jp



Installation Guide for PC

techmatlab@cybernet.co.jp

© COPYRIGHT 1996 - 2000 by The MathWorks, Inc.

The software described in this document is furnished under a license agreement. The software may be used or copied only under the terms of the license agreement. No part of this manual may be photocopied or reproduced in any form without prior written consent from The MathWorks, Inc.

FEDERAL ACQUISITION: This provision applies to all acquisitions of the Program and Documentation by or for the federal government of the United States. By accepting delivery of the Program, the government hereby agrees that this software qualifies as "commercial" computer software within the meaning of FAR Part 12.212, DFARS Part 227.7202-1, DFARS Part 227.7202-3, DFARS Part 252.227-7013, and DFARS Part 252.227-7014. The terms and conditions of The MathWorks, Inc. Software License Agreement shall pertain to the government's use and disclosure of the Program and Documentation, and shall supersede any conflicting contractual terms or conditions. If this license fails to meet the government's minimum needs or is inconsistent in any respect with federal procurement law, the government agrees to return the Program and Documentation, unused, to MathWorks.

MATLAB, Simulink, Stateflow, Handle Graphics, and Real-Time Workshop are registered trademarks, and Target Language Compiler is a trademark of The MathWorks, Inc.

Other product or brand names are trademarks or registered trademarks of their respective holders.

技術部

Printing History:	December 1996	First printing	New for MATLAB 5
	May 1997	Second printing	Revised for MATLAB 5.1
	January 1999	Third printing	Revised for MATLAB 5.3 (Release 11)
	November 2000	Fourth printing	Revised for MATLAB 6.0 (Release 12)
	October 2000	翻訳	

本書の内容の一部あるいは全部を無断で転載、複製、複写することを禁じます。 本書の内容は予告なく変更することがあります。

## Contents

#### 標準インストールの手順

はじめに	2
<b>インストールの前に</b>	3 3 4
<b>標準インストールの手順</b>	3 3 7
インストールの後に       1-13         MATLAB の起動       1-13         初期のカレントディレクトリの設定       1-13         MATLAB 環境オプションの設定       1-14         Release 12 プロダクトの設定       1-14         参照すべき情報       1-18	3 3 4 4 5
<b>インストールした MATLAB の削除</b>	5 5 5 3
追加プロダクトのインストール	9

#### ネットワークライセンスインストール手順

2

1

はじめに						•	•		•	•	•	•	•	•	2-2
ネットワ-	-クイ:	ンスI	<b>≻−</b> J	レの	设定										2-3

7	<b>ミットワークライセンス</b>	ζ.		•									2-4
	パーソナルライセンス	スパス	ワ-	- ド									2-4
	ライセンスファイル												2-4
7	<b>、ットワークインストー</b>	・ルの <sup>3</sup>	手順	Į									2-7
	インストールの前に												2-7
	インストールガイド									_		_	2-8

#### ライセンス管理

3

概要	. 3-2
ライセンスのアーキテクチャー・・・・・・・・・・・・・・	. 3-3
ライセンス管理デーモン	. 3-3
ライセンスファイル	. 3-4
別の FLEXIm アプリケーションを使って MATLAB を起動	. 3-6
重要なライセンス管理ファイル	. 3-6
一般のライセンス管理タスクの実行	. 3-8
コマンドラインの使用法	. 3-8
Imtools.exe GUI の使用法	3-10
FLEXIm コントロールパネルの使用法 ............	3-11
ライセンスマネージャの起動と終了	3-12
最小化されたウィンドウでの FLEXIm の実行	3-13
ライセンスの管理	3-14

#### PC インストールのトラブルシューティング

4

はじめに							•	•	•						4-2
インストー	ル中	の 「	問題	Į											4-3

MATLAB の起動の問題						•	•						•	•	•						4-4
---------------	--	--	--	--	--	---	---	--	--	--	--	--	---	---	---	--	--	--	--	--	-----

ドングルを利用するインストールのトラブルシューティング ... 4-6

#### MATLAB ディレクトリ構造

M	TLAB インストールディレ	ク	۲	IJ	構	造	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	5-2
M	TLAB サブディレクトリ																		5-3
	MATLAB¥BIN¥WIN32																		5-3
	MATLAB¥EXTERN																		5-3
	MATLAB¥SYS¥GHOSTSCRIPT	•																	5-3
	MATLAB¥SYS¥PERL¥WIN32																		5-3
	MATLAB¥TOOLBOX¥LOCAL																		5-3
	MATLAB¥TOOLBOX¥MATLAB																		5-4

5

## 1

## 標準インストールの手順

はじめに		•			•	•	•	•	•	•	. 1-2
インストール	の前に										. 1-3
プロダクトラ	イセンス										. 1-3
システム構成		•			•	•	•	•		•	. 1-4
標準インスト	ールの手順	Į									. 1-6
標準インスト	ールのチェ	ック	リス	1							. 1-6
インストール	ガイド				•	•	•	•		•	. 1-7
インストール	の後に										1-13
MATLAB の起動	]										1-13
初期のカレン	トディレク	トリ	の訝	定							1-13
MATLAB 環境オ	プションの	)設定									1-14
Release 12 ブ	゚ロダクトの	)設定									1-14
参照すべき情	報 .				•		•				1-15
インストール	した MATLA	B の肖	<b>间除</b>		_			_		_	1-16
アンインスト	ーラの記動										1-16
アンインスト	ーラの実行										1-16
ドングルを利	用するイン	スト	レ-	ショ	って	)削防	Ř				1-18
追加プロダク	トのインス	トー	ル								1-19

#### はじめに

本節では、MATLAB プロダクトファミリ、リリース 12 の PC へのインストール方法 を説明します。*individual* または group ライセンスをお持ちの場合は、この標準 のインストール手順をお使いください。

individual(スタンドアロン)ライセンスは、1台のコンピュータ上でプロダクト をインストールして利用します。ライセンスは、すべてのインストレーションに 対して1つのライセンスを使って、指定した数までMATLABをインストールします。

concurrent(ネットワーク)インストールの設定に関する情報は、第2章、"ネットワークライセンスインストール手順"を参照してください。

本章では、以下について説明します。

- インストールの前に行うべき手順
- 標準のインストール手順
- インストールが成功した後で行う推奨する手順

本節では、インストールした MATLAB のアンインストールや、既存のインストール にプロダクトを追加する方法についても説明します。

#### インストールの前に

MathWorks インストーラプログラムを実行する前に、以下を行います。

- ウィルスチェックプログラムをオフにします。
- 実行中のプログラム、特に既存の MATLAB のコピーを終了します。
- 購入時にサイバネットシステム株式会社から電子メールで送付されたパーソ ナルライセンスパスワード (PLP) がお手元にあることを確認してください。PLP をお持ちでない場合は、"プロダクトライセンス"を参照してください。
- インストールしようとするソフトウェアの動作環境を満たしていることを確認してください。詳細は、1-4ページの"システム構成"を参照してください。

**注意** Microsoft Windows NT または Windows 2000 システムに MATLAB をインス トールするには、管理者権限でなければなりません。

#### プロダクトライセンス

スタンドアロンライセンスでプロダクトを購入された際に、サイバネットシステム株式会社は、電子メールまたは郵送でパーソナルライセンスパスワード(PLP)を送付します。PLP は、インストールのためにライセンスが供与されているプロダクトを識別します。PLP は、以下のように 2 桁のリリースコードを先頭とする 一連の 5 桁の数字で構成されます。

12-12345-12345-12345-12345...

#### パーソナルライセンスパスワードの入手

PLP をお持ちでない場合は、**パーソナルライセンスパスワード**ダイアログボックス の PLP の取得ボタンをクリックして、インストール手順中に入手することができ ます。この方法で PLP を入手するためには、インターネット接続されていて、 MATLAB Access ナンバーをお持ちである必要があります。

PLP は、つぎの方法で The MathWorks もしくはサイバネットシステム社にコンタ クトすることにより、入手可能です。

 Webサイトwww.mathworks.com/mla.ユーザのlast nameとAccess numberを使って、 MATLAB Access にログインします。MATLAB Access membership は、無料で、全 てのお客様が加入できます。ライセンスに対してコンタクトすると、自動的に MATLAB Access に加入し、Access number が電子メールによって送付されます。

- 電子メールアドレス matpass@cybernet.co.jp
- カスタマサービスの電話番号 03-5978-5410
- ファクシミリ番号 03-5978-5440

PLP を請求される際には、つぎの内容を電子メールまたはファクシミリでお送り ください。

• ライセンスナンバー

ユーザサイトで、MATLAB が以前にインストールされていなければ、配送された パッケージの右上隅にライセンスナンバーが表示されています。

既に MATLAB をお使いのユーザサイトの場合、MATLAB コマンドプロンプトで licence または ver コマンドを入力することにより、ライセンスナンバーを得 ることができます。

電子メールアドレス

#### システム構成

必要なシステム構成に関する最新の情報は、サイバネットシステム社 Web サイト (www.cybernet.co.jp/products/matlab)のMATLAB技術/サポート情報の動作環境ペー ジをご覧ください。

- Pentium, Pentium Pro, Pentium II, Pentium III, AMD Athlon プロセッサ
- Microsoft Windows 95, Windows 98 (オリジナルおよび Second Edition), Windows NT 4.0(Service Pack 5 for Y2K compliancy), Windows 2000
- CD-ROM ドライブ(インストール用)
- Windows 95, 98, NT 4.0, 2000 については、最小で 64MB RAM。128 MB RAM を強 く推奨します。
- ディスク容量は、パーティションのサイズとオンラインヘルプファイルのイン ストールにより異なります。MathWorks インストーラは、パーティションに対 して必要なディスク容量を表示します。
- 8ビットグラフィックスアダプタおよびディスプレイ (256 色)

その他に、以下を推奨します。

- Microsoft Windows をサポートするグラフィックスアクセラレータカード
- Microsoft Windows をサポートするプリンタ
- Microsoft Windows をサポートするサウンドカード

• MATLAB Notebook の実行には、Microsoft Word 7.0 (Office 95), 8.0 (Office 97), Office 2000 が必要です。

MEX-ファイルを作成するためには、以下のうちのいずれかが必要です。

- ・ Compaq Visual Fortran 5.0 または 6.1
- ・ Microsoft Visual C/C++ version 5.0 または 6.0
- Borland C/C++ version 5.0, 5.02
- Borland C++Builder version 3.0, 4.0, 5.0
- Lcc 2.4 (MATLAB に付属)

PDF フォーマットの MATLAB オンラインドキュメントの表示および印刷には、Adobe Acrobat Reader が必要です。

MATLAB は、TCP/IP 通信プロトコルにより、ネットワークでの利用のため設定可能です。

#### 標準インストールの手順

インストールプロセス中に、3つの基本的な質問に答えます。

- ・ 誰が: 氏名、会社名、ライセンス情報 (PLP) を指定します。
- 何を:インストールしたいプロダクトおよびドキュメントを選択します。
- どこへ:プロダクトをインストールしたいディレクトリを選択します。

MathWorks インストーラプログラム (setup.exe) は、プロセスに従って進めます。 本節では、インストール手順のまとめと、ステップ毎の詳しい手順を説明します。

注意 サイトにおいて複数の標準インストールを行う場合は、MATLAB イメージを あるシステムから別のシステムにコピーすることによって、MATLAB インストール のクローンを作成しないでください。MATLAB はライセンスとシステムを対応付け るので、クローンインストレーションは失敗します。

#### 標準インストールのチェックリスト

このチェックリストは、標準インストール手順のステップをまとめたものです。 インストーラが表示するダイアログボックスの指示に従うだけで、インストール 完了することができます。このステップに関する詳しい情報は、1-7 ページの " インストールガイド " を参照してください。

#### 標準インストールのチェックリスト q 実行中のウィルスチェックプログラムをオフにします。 q 実行中の MATLAB を終了します。 q パーソナルライセンスパスワード (PLP) を用意します。 q MathWorks product CD を CD-ROM ドライブに挿入します。 q 表示された場合は Microsoft Java Virtual Machine(JVM) をインストー ルします。 MathWorks インストーラは、Microsoft JVM が必要です。 注意: Java のインストールでは、システムをリブートする必要があり ます。 q PLP を入力します。 q ソフトウェアライセンス許諾書を読みます。 q 氏名と会社名を入力します。 a インストールしたいプロダクトと、それらをインストールするディレク トリを指定します。 インストールの後で q 希望する場合は MATLAB 環境オプションをカスタマイズしま す。

q インストールしたプロダクトで必要な設定を行います。

#### インストールガイド

本節は、インストールプロセスの各ステップを説明します。インストール中にト ラブルが発生した場合は、インストールの問題に対する回答として、第4章、"PC インストールのトラブルシューティング"を参照してください。

注意 インストーラを起動する前に、ウィルスチェックソフトウェアをオフにして ください。また、Windows NT または Windows 2000 システムにインストールする 場合は、管理者権限でなければなりません。  MathWorks product CD を CD-ROM ドライブに挿入するか、MathWorks Web サイト からダウンロードしたインストーラファイルをダブルクリックします。 MathWorks インストーラは、MathWorks インストーラへようこそダイアログボッ クスを表示して、自動的に起動されます。



インストーラが起動しない場合は、Windows のエクスプローラウィンドウを オープンし、CD-ROM ドライブをクリックして、トップレベルのディレクトリの setup.exe プログラムをダブルクリックします。

注意 MathWorks インストーラは、Microsoft Java Virtual Machine(JVM) が必要 です。システムが要求されるバージョンの JVM をもたない場合は、インストーラ は JVM をインストールすることを促します。JVM のインストールが完了すると、シ ステムをリブートする必要があります。JVM のインストール中に CD-ROM ドライブ に MathWorks product CD を入れたままにすると、MATLAB のインストールは自動 的に再開されます。 2 パーソナルライセンスパスワードダイアログボックスにパーソナルライセンス パスワード (PLP)を入力して、次へをクリックします。タイピングエラーを防 ぐために、電子メールから PLP をコピーし、Ctrl+V を使ってこのダイアログ ボックスにペーストします。

Personal License Password	
	Please enter your Personal License Password (PLP) below. It is required for both concurrent and stand-alone licenses. You should have received this via e-mail or fax.
	If you do not have your PLP, press the button to get it via the Web.
	Enter your PLP (you may copy and paste the PLP here):
	<u>H</u> elp < <u>B</u> ack <u>N</u> ext > <u>C</u> ancel

注意 PLP とライセンスナンバーを混同しないでください。PLP は、2 桁のリリー スコードから始まる5桁の数値で構成されます。プロダクトのライセンスに関す る情報は、1-3 ページの " プロダクトライセンス " を参照してください。

- 3 ソフトウェアライセンス使用許諾書をお読みになり、同意の場合ははいをク リックします。インストール後に、MATLAB インストールディレクトリのトップ レベルにあるファイル license.txt のライセンス使用許諾書を見ることができ ます。
- 4 カスタマインフォメーションダイアログボックスに氏名と会社名を入力し、次へ をクリックします。
- 5 プロダクトリストダイアログボックスでインストールしたいプロダクトとそれ らをインストールしたいディレクトリを選択します(デフォルト値が表示され ます)。



ライセンスが供与されているすべてのプロダクトとドキュメントをデフォル トディレクトリ (C:¥mat labR12) にインストールするには、次へをクリックしま す。別のインストールディレクトリを指定したい場合は、以下に注意してくだ さい。

- 過去にインストールした MATLAB のバージョンのアップグレードの場合でも、 新規のディレクトリに MATLAB をインストールしてください。
- インストールディレクトリ名として "private" を使わないでください。
- 空白を含む、またはアットマーク(®)で始まるディレクトリ名を使わないで ください。

指定したディレクトリが存在しない場合は、インストーラが作成します。

**プロダクトの選択**.特定のプロダクトをインストールしたくない場合は、プロ ダクト名の隣のチェックマークをクリックして、未選択にしてください。コン ポーネントを未選択にした場合、後でインストールが可能です。詳細は、1-19 ページの "追加プロダクトのインストール "を参照してください。

**ドキュメントのインストール**.ドキュメントをインストールする場合は、イン ストーラはインストールを完了するために CD-ROM ドライブに documentation CD を挿入するように表示します。CD からドキュメントを見たり、MATLAB イン ストールディレクトリ以外のディレクトリにドキュメントをインストールす る場合は、"プロダクトのみをインストール"オプションを選択します。気が 変わった場合は、後でドキュメントをインストールすることが可能です。

注意 インストーラは、PDF 版のドキュメントはインストールしません。PDF ド キュメントは、CD または MathWorks Web サイトから利用可能で、HeIp プラウザで アクセスできます。

6 選択したプロダクトに応じて、インストーラはプロダクト固有の設定情報を含むダイアログボックスを表示する場合があります。

Product Configuration Notes	
	You can highlight the text and use ctrl C to copy it to the clipboard.           1. The MATLAB Server is running as a Windows NT service on your machine.           After installation, you must reboot your machine to start it. The service starts automatically at system boot. To remove it, uninstall or refer to the documentation.
	Help Next >

後で MATLAB を起動したときに利用するため、設定コマンドのような情報をダ イアログボックスからコピーすることができます。詳細は、1-14 ページの "Release 12 プロダクトの設定 " を参照してください。 7 インストーラが終了すると、インストール完了ダイアログボックスを表示します。



このダイアログボックスで、MATLAB を起動するか、また MATLAB ユーザとして 登録するかどうかを選択します。後者を選択した場合、インストーラはイン ターネットブラウザを起動し、MathWorks Web サイトの MATLAB Access ページ をオープンします。

インストールしたプロダクトを実行可能にする前にシステムをリブートする 必要がある場合は、インストーラは別の**インストール完了**ダイアログボックス を表示します。

Installation Complete	
	The installation was successful! Before you can run the products you installed, you need to restart your computer C Restart my computer now. C I will restart my computer later. Einish

#### インストールの後に

本節では、インストールが成功した後で行う作業について説明します。

- ・ "MATLAB の起動 "
- "初期のカレントディレクトリの設定"
- 1-14 ページの "MATLAB 環境オプションの設定 "
- 1-14 ページの "Release 12 プロダクトの設定 "

本節は、MathWorks プロダクトに関する情報のソースへのポインタも含みます。

#### MATLAB の起動

MATLAB を起動するには、数種類の方法があります。

デスクトップ上で、インストーラが作成した MATLAB アイコン("ショートカット"と呼ばれます)をダブルクリックします。



 スタートボタンをクリックし、プログラムメニューを見て MATLAB Release 12 を クリックします。このメニューから MATLAB R12 を選択します。

インストーラは、トップレベルのインストールディレクトリ (\$MATLAB) に MATLAB 実行ファイル (matlab.exe) のショートカットを置きます。

#### 初期のカレントディレクトリの設定

デフォルトでは、ショートカットを使って MATLAB を起動するときには、初期のカ レントディレクトリは \$MATLAB¥work ディレクトリです。ここで、\$MATLAB は、イン ストールディレクトリを表わします。しかし、MATLAB の初期カレントディレクト リとして任意のディレクトリを使うことが可能です。

¥work ディレクトリは、上書きインストール中にインストーラによって上書きされ ないので、変更、作成した M-ファイルを格納するのに適した場所です。このディ レクトリは、MathWorks アンインストーラプログラムを使って MATLAB インスト レーションを削除する際にも削除されません。

他のディレクトリを初期のカレントディレクトリとして指定するには、インス トーラがデスクトップ上に作成した MATLAB のショートカットを右クリックし、プ **ロパティ**オプションを選択します。**作業フォルダ**フィールドでディレクトリ名を指 定します。

#### MATLAB 環境オプションの設定

MATLAB を呼び出す際のウエルカムメッセージ、デフォルトの定義、MATLAB 表現を 設定するには、toolbox¥local ディレクトリに startup.m というファイルを作成し ます。MATLAB は、呼び出されるときにこのファイルを実行します。

たとえば、A4 印刷用にデフォルトの用紙サイズを変更するには、startup.mファイルにつぎの行を追加します。

set(0, 'DefaultFigurePaperType', 'a4')

#### Release 12 プロダクトの設定

Release 12 プロダクトの中には、さらに設定が必要なものがあります。つぎの表は、それらのプロダクトと設定に用いるコマンドを示します。これらのプロダクトのいずれかをインストールした場合は、詳しい設定情報について、それらのプロダクトのドキュメントを参照してください。

プロダクト	コマンド
MATLAB Notebook	notebook -setup
MATLAB Runtime Server	rtsetup
Real-Time Windows Target	rtwintgt -setup

#### Excel Link のバージョン

デフォルトでは、Excel Link(オーダー可能な別プロダクトです)は、Excel 97 をサポートします。しかし、インストーラは、toolbox¥exlink サプディレクトリに 2 つのバージョンの Excel Link を置きます。ファイル名に 95 が付いているもの (例 excllink95.xla および ExliSamp95.xls)は、Excel 7 に対応します。この識別 子が付いていないファイル(例 excllink.xla および ExliSamp.xls)は、Excel 97 に対応します。Excel のバージョンに合ったファイルを使ってください。

#### 参照すべき情報

MATLAB のインストールが正常終了した後で、利用してみたい場合があると思われます。つぎの表は、MATLAB を始める際に役立つ情報やその他の機能のソースへのポインタを示しています。

作業	説明
MATLAB の概要と機能を知る	Getting Started with MATLAB を読む
本リリースの新機能を知る	R12 Release Notes
プロダクトを起動するあるい はデモプログラムを実行する	Launch Pad を利用
特定の MATLAB の機能に関す る情報を得る	MATLAB メニューバーの <b>ヘルプ</b> を選択し、HTML 形式でハイパーリンクされたリファレンスと チュートリアルを表示する
ドキュメントで見つからない 特定の質問のヘルプを見る	MathWorks Web サイト (www.mathworks.com) に アクセスし、Technical Support solution search もしくはサイバネットシステム社の 技術 / サポート情報ページ (www.cybernet.co.jp/products/matlab) か ら情報を得る

#### インストールした MATLAB の削除

インストールした MATLAB には、システムから MATLAB を削除するために利用する アンインストーラ (uninstall.exe) と呼ばれるプログラムが含まれています。本節 では、以下について説明します。

- アンインストーラの起動
- アンインストーラを利用してコンピュータからソフトウェアを削除

本節は、ドングルを利用する MATLAB インストレーションの削除に関する情報も含みます

注意 アンインストールを試みる前に MATLAB をシャットダウンしていることを確 認してください。

#### アンインストーラの起動

MATLAB アンインストーラを起動するには、数種類の方法があります。

 スタートボタンをクリックし、プログラムオプションを選択し、MATLAB Release 12を選択します。MATLAB メニューで R12 Uninstaller オプションをクリックし ます。

MATLAB R12 🛃 M-file Editor 📣 R12 Uninstaller

 スタートボタンをクリックし、設定オプションを選択してコントロールパネルを クリックします。コントロールパネルで、アプリケーションの追加と削除オプ ションをダブルクリックします。プロダクトのリストから MATLAB Family of Products R12 を選択します。

アンインストーラを起動すると、アンインストールプロダクトリストダイアログ ボックスが表示されます。詳細は、"アンインストーラの実行"を参照してください。

#### アンインストーラの実行

アンインストールプロダクトリストダイアログボックスで、プロダクト名の隣の

チェックボックスをクリックすることによって、削除したいプロダクトを選択し ます。MATLABを削除する場合は、他のすべての MathWorks プロダクトを自動的に 削除します。

注意 アンインストーラを実行した後で、MATLAB インストールディレクトリは、 ¥uninstall サブディレクトリと ¥work サブディレクトリ以外は空になります。イ ンストールした MATLAB を完全に削除するには、これらのディレクトリを削除する 必要があります。¥work ディレクトリで作成した M-ファイルを削除する前に、他 のディレクトリに移動したほうが良い場合があります。

📣 Uninstall Product List				
RELEASE	Please check the products or on-line documentation you want to remove. If you select the MATLAB product, all other products will be removed.           Image: MATLAB         I			
Do you want to uninstall products, on-line documentation or both?				
Remove MATLAB Products				
Remove on-line English Documentation				
Remove on-line Japanese Documentation				
	Next > Cancel			

アンインストーラの実行時に、mwsamp.ocx ファイルを削除するかどうかを尋ねる ダイアログボックスが表示される場合があります。このファイルは、MATLAB イン ストレーション中に共有ファイルとして登録された ActiveX コントロールです。 このファイルは削除してもかまいません。

#### ドングルを利用するインストレーションの削除

インストレーションの中には、MATLAB が*ドングル*を必要とするものがあります。 ドングルは、デスクトップコンピュータのシリアルあるいはパラレルポートに接 続するハードウェアベースのセキュリティデバイスです。これは、組み込みのコー ドとパスワードを使ってソフトウェアアプリケーションへのアクセスを制御しま す。

システムがドングルを利用する場合、アンインストーラは、ドングルドライバを 削除したいかどうかを尋ねます。システム上で実行する他のアプリケーションが ドングルを利用する場合は、これらのドライバを削除しないでください。詳細は、 4-6ページの『ドングルを利用するインストールのトラブルシューティング』を 参照してください。

#### 追加プロダクトのインストール

その他のプロダクトをオーダーする際に、サイバネットシステム社は、新規のパー ソナルライセンスパスワード (PLP) を送付します。PLP は、インストールのため のライセンスを供与されているすべてのプロダクトを識別します。

追加プロダクトをインストールするには、以下を行います。

- 1 MATLAB をシャットダウンします。
- 2 CD-ROM ドライブに Release 12 CD を挿入するか、MathWorks Web サイトからダウ ンロードしたファイルをダブルクリックします。MathWorks インストーラプロ グラムが自動的に起動します。1-6 ページの "標準インストールの手順"に説 明したインストーラのダイアログボックスの指示に従います。
- 3 プロダクトリストダイアログボックスで
  - a カレントの MATLAB インストールディレクトリをインストールディレクトリ として指定します。
  - b 追加したいプロダクト(単数または複数)以外のすべてのプロダクトを未選 択にします。デフォルトでは、インストーラは、新規プロダクトだけでな く、インストール用にあらかじめ設定してあるライセンス供与された*すべ ての*プロダクトを表示しています。
- 4 インストレーションプログラムが終了すると、購入したプロダクトにおいて必要な設定を行います。

## ネットワークライセンスイ ンストール手順

はじめに・・・・・・・・					. 2-2
ネットワークインストールの設定					. 2-3
<b>ネットワークライセンス</b> パーソナルライセンスパスワード ライセンスファイル		•	•	•	. 2-4 . 2-4 . 2-4
<b>ネットワークインストールの手順</b> インストールの前に インストールガイド	•				. 2-7 . 2-7 . 2-8

#### はじめに

ネットワークインストールでは、FLEXIm(GLOBEtrotter Software, Inc. の製品で す)と呼ばれるライセンスマネージャを使ってプロダクトへのアクセスを制御し ます。ネットワークインストールを設定するには、ライセンスマネージャと購入 した MathWorks プロダクトを一緒にインストールする必要があります。MathWorks インストーラを使って両方のインストールを行います。

本章では、以下について説明します。

- ネットワークインストールの設定方法。この節では、ライセンスマネージャと MathWorks プロダクトをインストールするシステムをどのように決定するかを 説明します。
- ネットワークインストールの手順

インストールが正常終了した後の MATLAB の起動やその他の作業に関する情報は、 1-13 ページの "インストールの後に "を参照してください。

注意 インストーラを使うと、ライセンス管理用に FLEXIm を利用するそれ以外の 製品をお持ちの場合にも、ライセンス管理ソフトウェアに関する知識があまりな くても、ネットワークインストールを設定することが可能です。しかし、MathWorks プロダクトと既に確立されているライセンス管理スキームを統合したい場合は、 プロダクトライセンスに関するより十分な理解を必要とする場合があります。第 3章, "ライセンス管理"は、The MathWorks が FLEXIm をどのように利用するか に関する概要を説明しています。ライセンスに関する詳しい情報は、MATLAB イン ストレーションで PDF 形式で付属している *FLEXIm End User Manual* (\$MATLAB¥flexIm¥enduser.pdf)を参照してください。

#### ネットワークインストールの設定

この節では、ネットワーク上で MATLAB のネットワークインストールを設定するために必要なステップについてまとめます。指定された順番でこれらのステップを行う必要があります。

- 1 ネットワーク PLP を準備し、ライセンスマネージャを実行するシステム上のテンポラリディレクトリにライセンスファイルのコピーを置きます。御購入の際に、この節でライセンスサーバとして参照しているシステムのホスト ID をサイバネット社に通知していただいています。ライセンスファイルに関する詳しい情報は、2-4ページの "ネットワークライセンス "を参照してください。
- 2 ライセンスサーバにライセンスマネージャ(FLEXIm)をインストールします。イ ンストーラは、後に続く MATLAB クライアントインストールで必要なライセン スファイルに対する処理を行うため、このインストールは最初に行わなければ なりません。ネットワークインストールでは、ライセンスマネージャは1回だ けインストールする必要があります。

ライセンスサーバが PC の場合は、2-7 ページの " ネットワークインストールの 手順 "の指示に従い、プロダクトリストダイアログボックスでライセンスマネー ジャを選択することを確認してください。Windows 95 または Windows 98 シス テムをライセンスサーバとして利用することは推奨しません。

ライセンスサーバが UNIX システムの場合は、*Installation Guide for UNIX*の 指示に従います。UNIX のライセンスサーバは、PC をクライアントにすること が可能です。

- 3 MATLAB をインストールします。必要なインストールの回数は、ネットワークインストールの設定により異なります。
  - a ローカルクライアントアクセス設定においては、各クライアントシステム に MATLAB をインストールします。クライアントシステム上のユーザが MATLAB を起動するとき、ネットワーク上のライセンスマネージャにコンタ クトし、ライセンスキーをチェックします。
  - り リモートクライアントアクセス設定においては、セントラルファイルサー バに MATLAB を 1 回インストールするだけです。クライアントシステム上の ユーザは、ネットワークを通して MATLAB にアクセスします。リモートクラ イアントインストールでは、MATLAB のネットワークコピーのショートカッ トを設定するスクリプトをクライアントに提供し、MATLAB に対するデフォ ルトの起動ディレクトリを指定すると便利です。

#### ネットワークライセンス

ネットワークライセンスを御購入の際、サイバネットシステム社は2つのタイプ のライセンス情報を電子メールまたは郵送で送信します。

- 2-4 ページの "パーソナルライセンスパスワード "
- 2-4 ページの " ライセンスファイル "

PLP は、*インストール*のためのライセンスが供与されているプロダクトを識別し ます。ライセンスファイルは、*実行が*可能なプロダクトを識別します。

#### パーソナルライセンスパスワード

PLPは、2桁のプロダクトリリースコードを先頭とする一連の5桁の数字で構成されます。

12-12345-12345-12345...

PLP をお持ちでない場合は、パーソナルライセンスパスワードダイアログボックス の PLP の取得ボタンをクリックすることにより、インストール手順中に入手する ことが可能です。その他のオプションに関する情報は、2-6 ページの " ネットワー クライセンス情報の入手 " を参照してください。

#### ライセンスファイル

ライセンスファイルは、実行のためのライセンスが供与されているプロダクトに 対する暗号化されたプロダクトパスコードを含む、書式化された ASCII テキスト ファイルです。各プロダクトのパスコードは、プロダクトに対して有効な*キー*数 を示します。ライセンスマネージャは、特定の時点で各プロダクトに対応するラ イセンスキーの有効性により、プロダクトへのアクセスを許可するか、あるいは 拒否します。

ライセンスファイルには、ライセンスマネージャを実行するシステムを識別する 情報が含まれています。御購入の際に、このシステム、*ライセンスサーパ*を識別 する必要があります。ライセンスファイルの作成時には、ライセンスサーバのホ スト ID が必要です。

図 2-1 は、サイバネットシステム社が送付するライセンスファイルの例です。キー ワード INCREMENT で始まるライセンスファイルの各行は、購入したプロダクトを 示します。ポンド記号(#)で始まる行は、コメントを示します。ライセンスサー バ識別情報は、ライセンスファイルのコメントとして含まれています。行の末尾 のバックスラッシュキャラクタ(日本語フォント環境では¥)は、行がつぎの行に 続くことを示します(ライセンスファイルに関する詳細は、第3章、" ライセン ス管理 " を参照してください)。



図 2-1: ライセンスファイルのサンプル

#### ライセンスファイルの作成

サイバネットシステム社が送付したライセンスの電子メールからライセンスファ イルを作成する必要があります。テキストエディタを使ってテキストファイルを オープンして、BEGIN および END 行でマークされたメッセージ部分をテキストファ イルにコピーします。ファイル名を license.dat として、C:¥TEMP のようなテンポ ラリディレクトリに保存します。

郵送でライセンス情報を受け取った場合は、ライセンスファイルを作成する必要 があります。テキストエディタを使ってテキストファイルをオープンし、郵送さ れた情報をそのままライセンスファイルにタイプします。スペースと改行をすべ てそのままにするように注意してください。

注意 The MathWorks 社は、ライセンス情報を修正しないことを推奨します。変更 は、ライセンスファイルを無効にする場合があります。

#### ネットワークライセンス情報の入手

PLP およびライセンスファイルを受け取っていない場合、パーソナルライセンスパ スワードダイアログボックスの PLP の取得ボタンをクリックするか、ライセンス ファイルのパスダイアログボックスのライセンスファイルの取得をクリックする ことにより、インストール手順中にそれらの情報を入手することができます。The MathWorks およびサイバネットシステム社にコンタクトすることによっても入手 可能です。

- Webサイトwww.mathworks.com/mla. ユーザのlast nameとAccess numberを使って MATLAB Access にログインします。MATLAB Access membership は無料で、すべ てのお客様が加入できます。各ライセンスにおいて最初のコンタクトで自動的 にMATLAB Accessに加入し、Access numberが電子メールによって送付されます。
- 電子メール matpass@cybernet.co.jp.
- 電話 03-5978-5410;
- ファクシミリ 03-5978-5440.

ライセンス情報を請求される際には、つぎの内容を電子メールまたはファクシミ リでお送りください。

- ライセンスナンバー
  - a ユーザサイトで、MATLAB が以前にインストールされていなければ、配送さ れたパッケージの右上隅にライセンスナンバーが表示されています。
  - B 既にインストールされているMATLABのアップグレードやMATLABが起動中の 場合は、MATLAB プロンプトで license または ver とタイプします。
- 電子メールアドレス(お持ちの場合)
- ライセンスマネージャを実行するサーバのホストID。Windows NTおよびWindows 2000 システムでは、ホスト ID としてイーサネットアドレスまたは IP アドレス を使います。この情報を入手するには、コマンドプロンプトウィンドウで ipconfig を入力します。

#### ネットワークインストールの手順

本節では、ネットワークインストールにおいて、MATLAB およびライセンスマネー ジャのインストール方法を説明します。この手順を利用して以下を行います。

- PC ライセンスサーバ上にライセンスマネージャのみをインストール
- PC ライセンスサーバ上にライセンスマネージャと MATLAB の両方をインストール(リモートクライアントアクセス設定)
- PC 上に MATLAB のみをインストール(ローカルクライアントアクセス設定)

ネットワークインストレーションがUNIXシステムをライセンスサーバとして利用 する場合は、UNIX システム上のライセンスマネージャのインストールに関する指 示は、*Instal lation Guide for UNIX*を参照してください。

#### インストールの前に

インストレーションプログラムを実行する前に、以下を行います。

- ウィルスチェックソフトウェアをオフにします。
- 実行中のプログラム、特に、既存の MATLAB を終了します。
- インストールしようとするソフトウェアの動作環境を満たしていることを確認してください。詳細は、1-4ページの"システム構成"を参照してください。
- FLEXIm ライセンスマネージャが起動中の場合はシャットダウンします(方法は、3-12ページの"ライセンスマネージャの起動と終了"を参照してください)。

注意 Microsoft Windows NT または Windows 2000 システム上に MATLAB をインス トールするには、管理者権限でなければなりません。Windows 95 または Windows 98 システムは、ライセンスサーバとして推奨されません。

インストール中にトラブルが発生する場合は、一般的なインストールの問題に対 する回答として第4章, "PC インストールのトラブルシューティング " を参照し てください。

#### インストールガイド

PC に MATLAB またはライセンスマネージャをインストールするには、つぎの指示 に従います。

 MathWorks product CD を CD-ROM ドライブに挿入するか、MathWorks Web サイト からダウンロードしたインストーラファイルをダブルクリックします。 MathWorks インストーラは、MathWorks インストーラへようこそダイアログボッ クスを表示して、自動的に起動されます。



インストーラが起動しない場合は、Windows のエクスプローラウィンドウを オープンし、CD-ROM ドライブをクリックして、トップレベルのディレクトリの setup.exe プログラムをダブルクリックします。

注意 MathWorks インストーラは、Microsoft Java Virtual Machine(JVM) が必要 です。システムが要求されるバージョンの JVM をもたない場合は、インストーラ は JVM をインストールすることを促します。JVM のインストールが完了すると、シ ステムをリブートする必要があります。JVM のインストール中に CD-ROM ドライブ に MathWorks product CD を入れたままにすると、MATLAB のインストールは自動 的に再開されます。 2 パーソナルライセンスパスワードダイアログボックスにパーソナルライセンス パスワード (PLP)を入力して、次へをクリックします。タイプエラーを防ぐた めに、電子メールから PLP をコピーし Ctrl+V を使ってこのダイアログボック スにペーストします。MATLAB を複数インストールするネットワーク設定では、 各インストールに対して同じ PLP を使ってください。

Personal License Password		
	Please enter your Personal License Password (PLP) below. It is required for both concurrent and stand-alone licenses. You should have received this via e-mail or fax.	
RELEASE	If you do not have your PLP, press the button to get it via the Web.	
	Enter your PLP (you may copy and paste the PLP here):	
	Help < Back Next > Cancel	

注意 PLP とライセンスナンバーを混同しないでください。PLP は、2桁のリリースコードから始まる5桁の数値で構成されます。

- 3 ソフトウェアライセンス使用許諾書をお読みになり、同意の場合ははいをク リックします。インストール後に、MATLABインストールディレクトリのトップ レベルにあるファイル license.txt のライセンス使用許諾書を見ることができ ます。
- 4 カスタマインフォメーションダイアログボックスに氏名と会社名を入力し、次へ をクリックします。

5 プロダクトリストダイアログボックスでインストールしたいプロダクトとそれ らをインストールしたいディレクトリを選択し、次へをクリックします(デ フォルト値が表示されています)。

注意 ライセンスマネージャをインストールするには、プロダクトリスト内で名前の隣のボックスをクリックすることにより選択する必要があります。デフォルトでは、ライセンスマネージャはインストール用にあらかじめ選択されていません。ライセンスマネージャのみをインストールしたい場合は、プロダクトリスト内のそれ以外のすべてのプロダクトを未選択にしてください。



ライセンスが供与されているすべてのプロダクトとドキュメントをデフォル トディレクトリ (C:¥mat labR12) にインストールするには、次へをクリックしま す。別のインストールディレクトリを指定したい場合は、以下に注意します。

- 過去にインストールした MATLAB のバージョンのアップグレードの場合でも、
   新規のディレクトリに MATLAB をインストールしてください。
- インストールディレクトリ名として "private" を使わないでください。
空白を含む、またはアットマーク(®)で始まるディレクトリ名を使わないでください。

指定したディレクトリが存在しない場合は、インストーラが作成します。

プロダクトの選択.特定のプロダクトをインストールしたくない場合は、プロ ダクト名の隣のチェックマークをクリックして、未選択にしてください。コン ポーネントを未選択にした場合、後でインストールが可能です。詳細は、1-19 ページの "追加プロダクトのインストール "を参照してください。

**ドキュメントのインストール**.ドキュメントをインストールする場合は、イン ストーラはインストールを完了するために CD-ROM ドライブに documentation CD を挿入するように表示します。CD からドキュメントを見たり、MATLAB イン ストールディレクトリ以外のディレクトリにドキュメントをインストールす る場合は、"プロダクトのみをインストール"オプションを選択します。気が 変わった場合は、後でドキュメントをインストールすることが可能です。

注意 インストーラは、PDF 版のドキュメントはインストールしません。PDF ド キュメントは、CD または MathWorks Web サイトから利用可能で、HeIp プラウザで アクセスできます。  6 ライセンスファイルパスダイアログボックスで、ライセンスファイルの位置を 指定します。

License File Location	
	Enter the full path of the license file, license.dat. If the license manager has already been installed, use the license file from the FLEXIm directory.           Browse           Browse   OR press the Get License File button to get the license file via the web.           Get License File
	Help < <u>Back Next&gt;</u> Cancel

入力する位置は、実行するインストールのタイプにより異なります。

- a ライセンスマネージャをインストールする場合は、ライセンスの電子メールから作成したライセンスファイルの位置を指定します。これは、通常 C:¥TEMP のようなテンポラリディレクトリです。詳細は、2-5 ページの " ラ イセンスファイルの作成 "を参照してください。
- b MATLAB クライアントインストールでライセンスマネージャをインストール しない場合は、ライセンスマネージャのインストール中にインストーラに よって作成された、*処理された*ライセンスファイルの位置を指定します(処 理されたライセンスファイルは、SERVER 行を含みます。詳細は、第3章の" ライセンスファイル"を参照してください)。

つぎの表は、PC および UNIX システムでの処理されたライセンスファイルの 位置を示しています。

プラット フォーム	処理されたライセンスファイルの位置
PC	\$MATLAB¥flexIm
UNIX	\$MATLAB/etc UNIX システム上で作成されたライセンスファイルを PC 上で利 用するには、UNIX の行の終端キャラクタを削除する必要があり ます。たとえば、Sun systems で unix2dos をユーティリティを 使ってこの機能を実行できます。

7 Windows NT システムでライセンスマネージャをインストールする場合は、イン ストーラは FLEXIm1 サービスのインストールダイアログボックスを表示します (Windows 95 および 98 システムでは、サービスをサポートしないため一番上の オプションは、利用不可です)。

Install FLEXIm Service	
RELEASE	The files for FLEXIm 6.1 g will be installed in: C:\matlabR12\flexIm         Install license manager service.         The installer will create a license manager service on your machine using the following settings:         Service Name: MATLAB License Server lingtd: C:\matlabR12\flexImNingd.exe         License File: C:\matlabR12\flexImNingd.exe         License File: C:\matlabR12\flexImNingd.exe         MontainstabR12\flexImNingd.exe         Do not install license manager service.         You must manually install the license manager service using the installexe of flexin of utilities found in the FLEXIm directory.         You may also combine your MATLAB license file into an existing license manager.         Help       Next>

ライセンスマネージャをサービスとしてインストールすると、システムのブー ト時に自動スタートアップ機能を提供し、サービスコントロールパネルによっ てライセンスマネージャの集中管理を行います。ライセンスマネージャは、こ の表示では、MATLAB License Server として表示されます。

選択して次へをクリックすると、インストーラはインストールディレクトリへのファイルのコピーを開始します。インストーラはインストール状況ウィンドウにインストールの進行状況を表示します。

8 選択したプロダクトにより、インストーラは以下のようなプロダクト固有の設 定情報を含むダイアログボックスを表示することがあります。



後で MATLAB を起動したときのために、設定コマンドのような情報をこのダイ アログボックスからコピーすることができます。詳細は、1-14 ページの "Release 12 プロダクトの設定 " を参照してください。

9 インストーラが終了すると、インストール完了ダイアログボックスを表示します。

Installation Complete	
RELEASE	The installation was successful! Before you can run the products you installed, you need to restart your computer

ライセンスマネージャをサービスとしてインストールした場合は、直ちにコン ピュータを再起動することを推奨します。ライセンスマネージャは、コン ピュータを再起動したときに自動的に起動され、ライセンスマネージャは MATLABを起動するために実行されていなければなりません(詳細は、3-12ペー ジの"ライセンスマネージャの起動と終了"を参照してください)。

Windows 2000 システムでは、管理者権限をもつときに MATLAB を起動しない場合は、管理者権限をもたないユーザが MATLAB を起動するたびにワーニングメッセージが表示されます。

注意 クライアントシステム上で MATLAB を起動する際にトラブルが発生する場合 は、クライアント上で MATLAB を起動する前にライセンスサーバ上でライセンスマ ネージャが起動していなければならないことに注意してください。詳細は、第4 章, "PC インストールのトラブルシューティング"を参照してください。

クライアントインストールを実行した場合は、インストールの完了ダイアログ ボックスが MATLAB を起動するかどうかの選択を提供します。MATLAB を起動し て、インストールを確認するためにデモプログラムを実行することを推奨しま す。

インストール後の MATLAB の設定に関する情報は、1-13 ページの "インストー ルの後に "を参照してください。

# ライセンス管理

概要													. 3-2
ライセン	スのフ	7ーキ	Fテク	ッチ・	9								. 3-3
ライセン	ス管理	<b>聖デ</b> −	-モン	/									. 3-3
ライセン	スファ	マイリ	レ										. 3-4
別の FLEX	(Imア	プリ	ケー	ショ	ンを	使っ	τM	ATLA	Βを	起動			. 3-6
重要なラ	イセン	ノス管	管理こ	1ア・	イル	•	•	·	•	·	•	•	. 3-6
一般のラ	イセン	ノス智	管理ら	7ス?	うの 新	尾行							. 3-8
コマンド	ライン	ノの係	を用え	Ę									. 3-8
Imtools.	exe G	UIの	使用	法									3-10
FLEXIm コ	ント	コーノ	ルパス	ネル	の使	用法							3-11
ライセン	スマオ	ィーシ	ブヤの	)起重	訪と約	冬了							3-12
最小化さ	れたけ	フィン	ノドウ	での	の FLI	EXIm	の実	行	•	•			3-13
ライセン	スの智	鳕理											3-14

## 概要

注意 本節の情報は、ネットワークインストールのみに関連します。標準インス トールまたはグループインストールを実行する場合は、本節を読む必要はありま せん。

MathWorks インストーラを使い、第2章, "ネットワークライセンスインストー ル手順"の指示に従うと、ライセンス管理に関する知識があまりなくてもネット ワークインストールを設定することが可能です。しかし、MATLAB と既存の FLEXIm ライセンス機能を統合したい場合には、ライセンス管理に関するより深い理解が 必要な場合があります。

本節では、以下について説明します。

- FLEXImで用いるファイルや環境変数のような重要なライセンスコンポーネント。
- ライセンスアクティビティのモニタリングを含む一般のライセンス管理タス クの実行方法。

FLEXIm とライセンス管理に関する詳しい情報は、\$MATLAB¥flexIm ディレクトリ (\$MATLAB はインストールディレクトリ)の PDF 形式の *FLEXIm End User Manual*を 参照してください。

## ライセンスのアーキテクチャ

ネットワークインストールでは、FLEXIm(GLOBEtrotter Software, Inc.の製品で す)と呼ばれるライセンスマネージャを使ってソフトウェアへのアクセスを制御 します。本節では、以下について説明します。

- ライセンス管理デーモン
- ライセンスファイルのフォーマットとインストーラによる処理
- MATLAB が他のアプリケーションとライセンスマネージャを共有するとき、ライセンスファイルを起動する方法
- 他の FLEXIm アプリケーションと共に MATLAB を実行
- 重要なライセンス管理ファイル

本節では、\$MATLAB は MATLAB インストールディレクトリを表わします。

### ライセンス管理デーモン

FLEXImは、ソフトウェアアプリケーションへのアクセスを制御するためにセント ラルサーバで実行するデーモンと呼ばれるプロセスを利用します。このシステム は、ライセンスサーバとして参照されます。

メインデーモンは、ライセンスマネージャデーモン (Imgrd.exe) です。このデー モンは、ライセンス供与されたアプリケーションと、各アプリケーションに対応 するベンダーデーモンとの間の初期の通信を管理します。

FLEXIm を利用してプロダクトのライセンスを管理するベンダーは、ベンダーデー モンを提供する必要があります。ベンダーデーモンは、特定のアプリケーション に対して何個のライセンスキーが有効であるかを把握し、アプリケーションへの アクセスを許可あるいは拒否します。The MathWorks ベンダーデーモンの名前は、 mlm.exe です。

FLEXIm ライセンス管理を利用するアプリケーションを起動するとき、アプリケー ションは実行の許可を要求して、ライセンスサーバ上で実行中のライセンスマ ネージャデーモンにコンタクトします。ライセンスマネージャデーモンは、この 要求を許可または拒否するアプリケーションに対応するベンダーデーモンにフォ ワードします。

## ライセンスファイル

MATLAB やそれ以外のプロダクトの御購入の際に、MathWorks はプロダクトをネットワークで実行可能にするために必要なライセンス情報を送付します。 license.dat という名前のこの情報を含むハードディスク上に、ライセンスファイ ルを作成する必要があります。このファイルは、システム上の任意のディレクト リに作成することが可能です。ライセンスファイルの作成については、2-5 ペー ジの " ライセンスファイルの作成 " を参照してください。

クライアントアプリケーションとデーモンの両方がライセンスファイルを利用し ます。デーモンは、ライセンスファイルを利用してライセンス供与された各プロ ダクトに対して有効なキー数を決定します。クライアントは、ライセンスファイ ルを利用してライセンスサーバのホスト ID を取得します。

以下は The MathWorks が送付するライセンスファイルのサンプルです。

- # MATLAB license passcode file for use with FLEXIm 6.1g
- # LicenseNo: 12345 HostID: 00600835a7ac
- INCREMENT MATLAB MLM 12 01-jul-2002 3 6C585BDC74FA1DDCDD1C ¥ DUP GROUP=UH SN=12345
- INCREMENT SIMULINK MLM 12 01-jul-2002 2 9C18FB9CF1CA873C2CB4 ¥ DUP GROUP=UH SN=12345
- INCREMENT Control\_Toolbox MLM 12 01-jul-2002 1 ¥
  3CE88B0CAF04679953EA DUP\_GROUP=UH SN=12345
- INCREMENT Identification\_Toolbox MLM 12 01-jul-2002 1 ¥
  5C18BB4C1F2326817E04 DUP GROUP=UH SN=12345

ライセンスファイルは、使用のライセンスが供与されているプロダクトを箇条書きにした1行または複数のINCREMENT行を含みます。各INCREMENT行は、以下のフォーマットです(ライセンスファイルのINCREMENT行は、すべての要素を含まない場合があります)。

INCREMENT product vendor-daemon release-num expir-date num-users encrypted-passcode group-identifier serial\_num

注意 旧リリースでは、FEATURE 行を使ってライセンスファイル内のライセンスパス コード情報を暗号化していました。本リリースでは、ライセンスパスコードは INCREMENT 行で暗号化されています。INCREMENT 行は、FEATURE 行を同じ機能を実行します。

#### ライセンスファイル処理の理解

ライセンスマネージャをネットワークインストールの一部としてインストールする

とき、インストーラはライセンスマネージャサーバとデーモンの位置に関する情報 を追加して、ライセンスファイルを処理します。ファイルを処理した後で、インス トーラはライセンスファイルのコピーを \$MATLAB¥flexIm ディレクトリに置きます。

以下は、処理されたライセンスファイルのサンプルです。SERVER 行と DAEMON 行が 追加されています。

SERVER smithj ID=00600835a7ac 27000
DAEMON MLM C:¥matlabR12¥flexIm¥mIm.exe
# MATLAB license passcode file for use with FLEXIm 6.1g
# LicenseNo: 12345 HostID: 00600835a7ac
INCREMENT MATLAB MLM 12 01-jul-2002 3 6C585BDC74FA1DDCDD1C ¥
DUP\_GROUP=UH SN=12345
INCREMENT SIMULINK MLM 12 01-jul-2002 2 9C18FB9CF1CA873C2CB4 ¥
DUP\_GROUP=UH SN=12345
INCREMENT Control\_Toolbox MLM 12 01-jul-2002 1 ¥
3CE88B0CAF04679953EA DUP\_GROUP=UH SN=12345
INCREMENT Identification\_Toolbox MLM 12 01-jul-2002 1 ¥
5C18BB4C1F2326817E04 DUP GROUP=UH SN=12345

SERVER 行は、以下のフォーマットを使ってライセンスマネージャデーモンを識別します。

SERVER hostname HostID TCP\_PortNumber

SERVER 行の Host ID は、ライセンスファイルのコメント部分の Host ID と一致しなければなりません。

上記の例で、ホスト名は smithj、ホスト ID は 00600835a7ac で、ポート番号は 27000 です。TCP ポート番号は、デーモンと通信を行うポートを識別します。TCP ポート 番号がその他のソフトウェアと重複するかわからない場合は、この番号を変更し ないでください。しかし、非ルートアカウントからデーモンを実行するために、 任意のポート番号を使うことができ、その場合ポート番号は 1024 よりも大きくな ければなりません。

DAEMON行は、デーモンの実行ファイルの完全なパスを使ったMathWorksのベンダー デーモンシンボル MLM の対応を定義します。

### クライアントシステム上で処理されたライセンスファイル

ネットワークにおけるクライアントインストールでは、インストールプロセス中

に**ライセンスファイルのパス**ダイアログボックスに処理されたライセンスファイ ル名を指定します。インストーラは、ライセンスファイル内のすべての INCREMENT 行を削除し、それらを単一の行 USE\_SERVER で置き換えます。

MATLAB クライアントインストールが終了した後で、インストーラは処理されたラ イセンスファイル (license.dat)を \$MATLAB¥bin¥win32 ディレクトリに置きます。

## その他の FLEX Im アプリケーションを使って MATLAB を実行

ライセンス管理用に FLEXIm を利用する他のアプリケーションがある場合は、単一 のライセンスマネージャを共有するか、あるいは同一または別のホスト上で別々 のライセンスマネージャを実行します。

#### 単一のライセンスマネージャの共有

ライセンスマネージャを共有するには、両方のライセンスファイルから DAEMON および INCREMENT 行を単一のライセンスファイルに統合します。SERVER 行を1つだけ利用し、ライセンスマネージャをそのホスト上にインストールします。MATLAB とその他のアプリケーションが異なるバージョンのFLEXImソフトウェアを利用している場合は、より新しいバージョンのライセンスバージョンを実行します。

詳細は、www.globetrotter.comのGLOBEtrotter Webページあるいは\$MATLAB¥flexIm ディレクトリのPDF 形式の*FLEXIm End User Manual*を参照してください。

#### 別々のライセンスマネージャの実行

別々のライセンスマネージャを実行するには、別々のライセンスファイルを使いま す。同一ホスト上でライセンスマネージャを実行中の場合は、各ライセンスファイ ルで SERVER 行において別々の TCP ポート番号を利用することを確認してください。

### 重要なライセンス管理ファイル

以下の表は、ライセンス管理に関連する重要なすべてのファイル名をまとめたも のです。

コンポーネント	名前と位置
FLEXIm ドキュメント	\$MATLAB¥flexIm¥enduser.pdf
ライセンスファイル	\$MATLAB¥flexIm¥license.dat (インストーラによる処理後)
ライセンス管理ツール	\$MATLAB¥flexIm¥Imutil.exe

コンポーネント	名前と位置
ライセンス管理ツールコント ロールパネル	\$MATLAB¥flexlm¥flexlm.cpl
ライセンスマネージャデーモン	\$MATLAB¥flexIm¥Imgrd.exe
ライセンスマネージャログファ イル	\$MATLAB¥flexIm¥Imlog.txt
ベンダーデーモン	\$MATLAB¥flexIm¥m1m.exe

## 一般的なライセンス管理タスクの実行

MATLABのネットワークインストールは、FLEXImが提供するライセンス管理ツール を含んでいます。これらのツールを利用して、以下のことを行うことができます。

- すべてのネットワークライセンスアクティビティのステータスをモニタリン グします。
- ライセンスキーの問題を診断します。
- ライセンスマネージャ (Imgrd.exe) とライセンスサーバノードでのすべてのベン ダーデーモンの、すべてのライセンスデーモンを起動し、シャットダウンします。
- ライセンスマネージャデーモンを起動しライセンスファイルを再読み込みし、 新規のベンダーデーモンを起動します。
- システムのホスト ID を決定します。
- レポートログファイルを切り替えます。
- ライブラリまたはバイナリファイルの FLEXImのバージョンを決定します。

以下を使ってこれらのツールにアクセスすることができます。

- コマンドライン (Imutil.exe)
- GUI(Imtools.exe)
- コントロールパネルインタフェース (flex1m.cpl)

つぎの節では、各手法の使用法を説明します。

注意 これらのツールは、ライセンスマネージャが起動中のシステムにおいて実 行しなければなりません。

### コマンドラインの使用法

すべての FLEXIm ライセンス管理ツールは、Imutil.exe と呼ばれる1つの実行ファ イルにパッケージ化されています。インストーラは、このプログラムを \$MATLAB¥flexIm ディレクトリに置きます。

以下のフォーマットを使って個々のツールを呼び出します。

Imutil command

ここで、command は個々のツール名です。

たとえば、ネットワークライセンスアクティビティのステータスをモニタするに は、Imstat ツールを使います。

注意 この例で、-c フラグを使ってライセンスファイルの位置を指定することに 注意してください。Imutil.exe を使って呼び出されたツールと共にこのフラグを 指定する必要があります。

Imutil Imstat -a -c C:\u00e4matlabR12\u00e4flexIm\u00e4license.dat

Imutil - Copywright (C) 1989-1999 Globetrotter Software, Inc. Flexible License Manager status on Friday 11/1/2000 15:17

License server status: 27000@smithj License File(s) on smithj: C:¥matlabR12¥flexIm¥license.dat:

smithj: license server UP (MASTER) v.6.1

Vendor daemon status (on smithj): MLM: UP v6.1

Feature usage info:

Users of MATLAB: (Total of 1 licenses available) "MATLAB" v12, vendor: MLM floating license jsmith smithj smithj (v12)(smithj/27000 103),start Fri 11/15.07

Users of SIMULINK: (Total of 1 licenses available)

Users of Control\_Toolbox: (Total of 1 licenses available)

Users of Identification\_Toolbox: (Total of 1 licenses available)

Imutil.exe から利用可能なすべてのツールの一覧を表示するには、コマンドプロン プトウィンドウをオープンし、\$MATLAB¥FLEXLM ディレクトリに移動して、以下のよ うにタイプします。

lmutil

ユーティリティ	説明
Imdiag	ライセンスチェックアウト問題の診断
Imdown	ライセンスサーバノード上のすべてのライセンスデーモ ンのシャットダウン(Imgrdおよびすべてのベンダーデー モンの両方)
Imhostid	システムのホスト ID のリポート
Imreread	ライセンスデーモンを起動してライセンスファイルを再 読み込みし、新規のベンダーデーモンを起動
lmstat	すべてのネットワークライセンスアクティビティのス テータスの表示
Imswitchr	レポートログファイルの切り替え
lmver	ライブラリまたはバイナリファイルのFLEXImバージョン の決定

つぎの表は、Imutil から利用可能なほとんどのツールのアルファベット順の一覧です。

Imutil.exe の一覧には、ほとんどのツールの簡単なシンタックスの説明が含まれます。詳しい情報は、MATLAB インストールにおいて PDF フォーマットで提供されている FLEXIm End User Manua/(\$MATLAB¥flexIm¥enduser.pdf)を参照してください。

### Imtools.exe GUI の使用法

FLEXImは、ライセンス管理ツールにグラフィカルユーザインタフェース(GUI)を 提供します。このGUIを呼び出すには、\$MATLAB¥flexImディレクトリのImtools.exe ファイルをダブルクリックします。GUI は、ボタンを使って Imutil.exe と同じ ツールへアクセスし、統合されたディスプレイウィンドウに出力された結果を表示します。

たとえば、Intools GUI を使ってネットワークライセンスアクティビティのステータ スをモニタリングするには、Status ボタンをクリックします。Intools は、特定のデー モンあるいは機能へのステータスの要求にさらに条件を付けることように指示しま す。デフォルトでは、Intools は Inutil Instat -a を入力したのと同じ情報を表示し ます。

# 注意 Intools GUI の使用時には、ライセンスファイルの位置を Current License File フィールドに指定しなければなりません。

Lmtools	_ 🗆 X
Checksum Diagnostics Shutdown Hostid Reread Status Switchr Time	Version
C SPX Current License File C:\matlabR12\flexIm\license.dat Browse Save Text	Exit
Status Flexible License Manager status on Mon 9/11/2000 16:06	<b>_</b>
License server status: 27000@holohanj License file(s) on holohanj: C:\matlabR12\flextm\license.dat:	
holohanj: license server UP (MASTER) v6.1	
Vendor daemon status (on holohani):	
MLM: UP v6.1	
Feature usage info:	
Users of MATLAB: (Total of 1 licenses available)	
Users of SIMULINK: (Total of 1 licenses available)	
Users of Control_Toolbox: (Total of 1 licenses available)	
Illsers of Identification. Toolhow: (Total of 1 licenses available)	•

ツールに関する詳細は、3-8 ページの " コマンドラインの使用法 " を参照してく ださい。

## FLEXIm コントロールパネルの使用法

FLEXIm は、タブで区分されたコントロールパネル GUI フォーマットのライセンス 管理 ツール に アクセス します。コントロールパネルを起動するには、 \$MATLAB¥flexIm ディレクトリに移動し、ファイル flexIm.cpl を右クリックし、Open with Control Panel を選択します。コントロールパネルは、Imutil.exe と同じツー ルへアクセスします。

FLEXIm License Man	ager E	×
Control Setup Licenses	Diagnostics About	
Controls License Manag Service Name Start Stop Status	er MATLAB License Server Starts Up the License Server Stops the License Server License Manager Status	
	OK Cancel Apply	

## ライセンスマネージャの起動と終了

Windows NTでは、FLEXIm ライセンスマネージャは、サービスとしてインストール されます。ライセンスマネージャを起動するには、数種類の方法があります。

- マシンをリブートすることによって。Windows NTのサービスとして、ライセン スマネージャはブート時に自動的に起動されます。
- FLEXIm コントロールパネルを利用
- Windows NT のコントロールパネルを利用

#### Windows NT のコントロールパネルの利用

Windows NTのコントロールパネルを使ってライセンスマネージャを起動または終 了するには、

- スタートメニューで設定オプションを選択
- 設定メニューからコントロールパネルを選択
- ・サービスをダブルクリック

**サービス**ダイアログボックスで、MATLAB License Server 名を探します。ライセン スマネージャの状態は"開始"で、スタートアッププロパティは"自動"です。 ライセンスマネージャがアクティブでない場合は、ダイアログボックスの FLEXIm エントリを選択して、Start ボタンをクリックすることにより起動することがで きます。

## 最小化されたウィンドウでの FLEX Im の実行

Windows 95 でライセンスマネージャを起動する場合は、DOS ウィンドウが現れて スクリーン上で可視のままになります。最小化された DOS ウィンドウでライセン スマネージャを実行することにより、この乱れを除くことができます。

- 1 C:¥WIN95¥Start Menu¥Programs¥Startup に移動します。
- 2 FLEXIm ライセンスマネージャアイコンを右クリックします。
- 3 ポップアップメニューから Properties を選択します。
- 4 Shortcut タブをクリックします。
- 5 Run フィールドの Minimized を選択します。

# ライセンスの管理

追加のプロダクトを購入したい場合や、システム環境が変更されサイバネットシ ステム社にコンタクトしたい場合は、サイバネット社のWebサイト www.cybernet.co.jpをご覧になってください。

つぎのような場合には、

- ライセンスを他の CPU に移動
- ライセンスの統合
- ライセンス間のツールボックスの移動
- ライセンス登録の変更
- コンタクト情報のアップデート

サイバネット社 Web サイトに移動し、**製品紹介**をクリックし、MATLAB を選択して ください。そして、**お問い合わせ**をクリックしてください。行いたいことによっ ては、変更したいプロダクト名やライセンス番号、ライセンスサーバのホスト ID が必要となります。

追加プロダクトの購入をご希望の場合は、弊社営業部へのお問い合わせもしくは インフォメーションにある Web store にアクセスしてください。ここでは、個々 のプロダクトあるいはプロダクトの組合せを購入可能で、既存のライセンスにプ ロダクトを追加したり、保守契約の加入・更新、その他のオプションを購入する ことが可能です。

Web アクセスへのアクセス番号が不明の場合は、サイバネットシステム社(電話 番号 03-5978-5410)にお問い合わせください。

# PC インストールのトラブル シューティング

はじめに、・・・										. 4-2
インストール中の問題			•							. 4-3
MATLAB の起動の問題										. 4-4
ドングルを利用するイン	ッス	トーノ	ルの	トラ:	ブルシ	シュ・	ーティ	ィング	プ	. 4-6

# はじめに

本章では、スタンドアロンインストールあるいは、ネットワークインストールで 発生する一般的な問題を解決するために役立つ情報を提供します。

問題に該当する記載が見つからない場合は、つぎのオプションを試してみてくだ さい。

- MATLAB プロダクトと共に配送されたリリースノートを調べてください。このドキュメントは、プロダクトやインストール手順に関する最新の情報が含まれます。
- サイバネットシステム Web サイト、www.cybernet.co.jp/product/MATLAB の "技術 / サポート情報"のインストールウイザードをご覧ください。

## インストール中の問題

本節では、インストール中に一般に発生する問題に対する回答を提供します。

#### インストーラを起動できない: Java クラスファイルがない

インストーラは、Microsoft Java Virtual Machine(JVM)を要求します。インス トーラが起動されると、要求されるバージョンの JVM があることを確認します。 必要なバージョンがないことを検出した場合は、ユーザにインストールすること を促し、終了します。

システムの中には、正しい JVM ファイルの一部があっても、すべてはない場合が あります。この場合、インストーラは起動しますが、以下のエラーメッセージを 表示します。

Unable to start the application - the class file could not be loaded.

この問題を解決するには、トップレベルの CD ディレクトリの ¥MSutils サブディ レクトリのMATLABパッケージに含まれるMicrosoft JVM installer(msjavx86.exe) を実行します。日本語版 Microsoft Windows を実行中の場合は、jmsjavx86.exe を 実行します。

#### 無効なパーソナルライセンスパスワード

インストール中に、PLP を入力しなければなりません。PLP が無効の場合は、イン ストールを続けることができません。以下のことをチェックしてください。

 カスタマインフォメーションダイアログボックスに PLP を入力します。ライセン スナンバーと PLP を混同しないでください。PLP は、以下のように、2 桁のリ リースコードを先頭とする5桁の一連の数値で構成されます。

12-12345-12345-12345-12345

 カレントの PLP を利用します。PLP は、バージョン固有です。旧バージョン用 PLP を新しいバージョンの MATLAB に使わないでください。

ライセンスファイルの問題のトラブルシューティングに関する情報は、3-4 ページの " ライセンスファイル " を参照してください。

#### 既存のツールボックスの上書きの失敗

インストール手順の実行を始める前に、実行中の既存のバージョンの MATLAB を終 了することを確認してください。

# MATLABの起動の問題

インストールが成功した後で、MATLABの起動の問題が発生する場合があります。 これらの問題の多くは、MathWorks プロダクトが利用するライセンスマネージャ FLEXImに原因があります。本節では、一般的なライセンスマネージャエラーと考 えられる回答を説明します。\$MATLAB¥flexImディレクトリのFLEXImログファイル Imlog.txtを表示することも役立ちます。

FLEXIm ライセンスマネージャの問題に関する情報は、\$MATLAB¥flexIm ディレクト リの PDF 形式の *FLEXIm End User Manual* あるいは GLOBEtrotter Software, Inc. Web サイト www.globetrotter.com を参照してください。MathWorks Web サイト、 www.mathworks.comの support page にアクセスして、エラー番号によってソリュー ションデータベースを検索することにより、特定のライセンスマネージャに関す る情報を見つけることもできます。

License Manager Error -8: Invalid (Inconsistent) License Key このエラーメッセージは、通常ライセンスファイル \$MATLAB¥flexIm¥license.dat が 間違っていることを示します。これは、ライセンスファイルが変更されたか、あ るいは電子メールプログラムが INCREMENT 行にタブまたはキャリッジリターンを 挿入した場合に発生します。

ライセンスファイルの内容が The MathWorks から送付されたライセンスファイルのデータと一致することを確認してください。

#### License Manager Error -9: Invalid Host

MATLAB は、特定のマシンにライセンスをロックします。このエラーが生じた場合 は、MATLAB をインストールしたシステムと同一のシステムで実行していることを 確認してください。ハードウェアドライブを置き換え、既存のハードウェアドラ イブのパーティションを変更し、あるシステムから他のシステムへ Release 12 イ ンストレーションをコピーしようとした場合にも発生することがあります。

カレントの MATLAB のインストレーションを削除し、インストールディレクトリを 削除してから、MATLAB を再インストールしてください。

#### License Manager Error -10: Feature has expired

このエラーは、プロダクトのうちのいくつかが期限切れであることを示します。

ライセンスファイル内の INCREMENT の各行の有効期限を調べてください。ライセンスファイル内の日付を既に過ぎている場合は、サイバネットシステム社にお問い合わせください (Web または電子メール matpass@cybernet.co.jp)。サイバネット

システム社へのコンタクトの際には、ライセンスナンバーとライセンスサーバの ホスト ID をお知らせください。

プロダクトライセンスが期限切れでない場合は、システムの日付と時刻が正確で あるかどうかを調べてください。Windows システムでは、以下のようにします。

- 1 スタートメニューをクリックします。
- 2 設定を選択します。
- 3 コントロールパネルをクリックします。
- 4 日付と時刻を選択します。

License Manager Error - 13: No SERVER Line in License File これは、ライセンスファイルに SERVER 行がないことを示します。この行は、イン ストーラによって付け加えられます。

再度インストーラを起動し、ライセンスファイル \$MATLAB¥flex1m¥license.dat に SERVER 行をマニュアルで付け加えてください。SERVER 行のフォーマットや内容に 関する情報は、2-4 ページの " ライセンスファイル " を参照してください。

License Manager Error -15: Cannot connect to license server このエラーメッセージには、いくつかの原因がありますが、ほとんどの共通の原 因は、ライセンスマネージャが起動していないことです。

ライセンスマネージャのプロセス LMGRD と MLM が両方共実行されていることを確 認してください。これは、Ctrl+Alt+Delete キーシーケンスによってアクセスが可 能なタスクマネージャによって調べることができます。ライセンスマネージャが 起動中のシステムにおいてこれらのコマンドを実行してください。

ライセンスマネージャが実行中でない場合は、その起動に関する情報について 3-12ページの " ライセンスマネージャの起動と終了 " を参照してください。

# ドングルを利用するインストールのトラブルシューティング

MATLAB インストールにおいてドングルの利用が必要な場合は、ドングルを利用す る実行中の他のアプリケーションとの矛盾が生じる場合があります。ドングルは、 デスクトップコンピュータのシリアルまたはパラレルプリンタポートに接続され るハードウェアベースのセキュリティデバイスです。組み込みコードおよびパス ワードを使ってソフトウェアアプリケーションへのアクセスを制御します。

MATLAB は、一定のドングルドライバが必要です。MATLAB では他のドングルを使う ことはできません。また、コンピュータから他のアプリケーションを削除する場 合、これらのアプリケーションはアプリケーション自体と共に MATLAB ドングルも 削除することがあります。

ドングルに関する問題のトラブルシュートの手助けとして、MATLAB は dongleutil.exe と呼ばれるユーティリティプログラムを提供します。ドングル ユーティリティプログラムは、以下の用途に用いることができます。

- 現在インストールされているドングルドライバのバージョンを決定します。この情報は、MathWorks Technical Support において役立ちます。
- MATLAB が要求するドングルドライバのバージョンを指定します。
- MATLAB が要求するドングルドライバをインストールします。

dongleutil.exe ユーティリティは、\$MATLAB¥bin¥win32 ディレクトリに MATLAB の一 部分としてインストールされます。ここで、\$MATLAB は MATLAB がインストールさ れるディレクトリを表わします。

# MATLAB ディレクトリ構造

ノクト	~ リ梢	青造			•	•	•	. 5-2
								. 5-3
								. 5-3
								. 5-3
								. 5-3
								. 5-3
								. 5-3
								. 5-4
	<b>&gt;ク </b> ・ ・ ・ ・ ・	レクトリ構     	>クトリ構造	>クトリ構造 .	>クトリ構造	>クトリ構造	>クトリ構造	>クトリ構造

# MATLAB インストールディレクトリ構造

インストール後に、MATLAB インストールディレクトリには、以下が含まれます。

- MATLAB ソフトウェアライセンス使用許諾書を含む license.txt というテキスト ファイル。
- MATLAB 実行モジュールのショートカット
- 下記のサブディレクトリ

注意 インストレーションによっては、以下の全てのサブディレクトリを含まな い場合があります。

¥BIN¥WIN32	MATLAB バイナリファイルと関連ファイル
¥DEMOS	MATLAB デモプログラム
¥EXTERN	MATLAB の外部インタフェース作成ツール
¥FLEXLM	FLEXIm ライセンスマネージャ、ライセンス管理ユーティリ ティ
¥HELP	ヘルプシステム
¥JA	MATLAB 日本語化ファイル
AVA	MATLAB Java Jar ファイル
¥NOTEBOOK	MATLAB Notebook
¥SYS	MATLAB が依存するツールとオペレーティングシステムライ ブラリ
¥T00LB0X	MATLAB のツールボックス
¥UNINSTALL	MATLAB アンインストーラプログラム
¥WORK	デフォルトの初期のカレントディレクトリ

# MATLAB サブディレクトリ

サブディレクトリとそれらの内容を以下に示します。

### MATLAB¥BIN¥WIN32

MATLAB.EXE MATLAB 実行ファイル

\*.DLL, \*.EXE, \*.BAT その他のファイル

### MATLAB¥EXTERN

¥EXAMPLES	Application Program Interface を利用したCおよび Fortran の例題
¥INCLUDE	外部インタフェースライブラリのヘッダファイル
¥LIB	コンパイラが要求するライブラリ
¥SRC	MEX 作成においてインクルードされる C ソースファイル

## MATLAB¥SYS¥GHOSTSCRIPT

¥BIN	GhostScript バイナリ
¥FONTS	PostScript フォントの GhostScript バージョン
¥PS_FILES	PostScript の初期化ファイルと設定ファイル

### MATLAB¥SYS¥PERL¥WIN32

完全な ActiveState Perl

### MATLAB¥TOOLBOX¥LOCAL

ローカル環境 M- ファイル

# MATLAB¥TOOLBOX¥MATLAB

¥AUDIO	音声 1/0 コマンド
¥DATAFUN	データ解析とフーリエ変換関数
¥DATATYPES	データタイプと構造
¥DEMOS	デモンストレーションとサンプル
¥ELFUN	基本数学関数
¥ELMAT	基本行列関数と行列操作
¥FUNFUN	ファンクション関数 – 非線形数値解析法
¥GENERAL	一般的なコマンド
¥GRAPH2D	2 次元グラフィックス
¥GRAPH3D	3 次元グラフィックス
¥GRAPHICS	一般的なグラフィックスコマンド
¥IOFUN	低水準ファイル I/0 関数
¥LANG	言語構築とデバッグ機能
¥MATFUN	行列関数 – 数值線形代数
¥OPS	演算子と特殊文字
¥POLYFUN	多項式関数と内挿関数
¥SPARFUN	スパース行列関数
¥SPECFUN	特殊数学関数
¥SPECGRAPH	特殊グラフ
¥STRFUN	キャラクタ文字列関数
¥TIMEFUN	時刻、日付、カレンダ関数
¥UIT00LS	ユーザインタフェースユーティリティ
¥VERCTRL	バージョン制御関数
¥₩INFUN	ウィンドウ関数

#### A A4 用紙サイズ 指定 1-14

### D

DAEMON 行 ライセンスファイル 3-5 dongleutil.exe 4-6

#### Е

Excel Link インストールバージョン 1-14

### F

FEATURE 行 ライセンスファイル 3-4 FLEXIm インストールディレクトリ 3-3 コントロールパネル 3-11 トラブルシューティング 4-4 最小化されたウィンドウ 3-13 flexIm.cpl 3-11

### I

INCREMENT 行 ライセンスファイル 3-4 ipconfig 2-6

#### J

Java Virtual Machine (JVM) インストール 1-8 トラブルシューティング 4-3

### L

license.dat 2-5 license.txt ソフトウェアライセンス使用許諾書 1-9 Imgrd.exe 3-3 Imlog.txt

#### ライセンスマネージャログファイル 4-4

#### Μ\_\_\_\_

MATLAB Getting Started 1-15 ディレクトリ構造 5-2 ネットワークインストールの設定 2-3 起動 1-13 MATLAB アクセス 1-3 MATLAB の起動 1-13 トラプルシューティング 4-4 mwsamp.ocx 1-17

#### N

Notebook 設定 1-14

#### Ρ

Perl PC上のインストールディレクトリ 5-3

#### R

Real-Time Windows Target 設定 1-14 Runtime Server 設定 1-14

#### S

SERVER 行 トラプルシューティング 4-5 ライセンスファイル 3-5 setup.exe 1-8, 2-8

### Ţ

The MathWorks へのコンタクト 3-14

#### W

Windows 95 ライセンスサーバとして 2-7 Windows 98 ライセンスサーバとして 2-7 Windows NT サービス ライセンスマネージャのインストール 2-13 work ディレクトリ 1-13

**あ** アクセスプログラム MATLAB 1-3

**い** インストーラ 起動 ネットワークインストール 2-8 標準インストール 1-8 インストールディレクトリ 名前の指定 1-10 インストール手順 ネットワーク 2-7 プロダクトの選択 スタンドアロンライセンス 1-9 ネットワークライセンス 2-10 必要条件 スタンドアロンライセンス 1-3 ネットワークライセンス 2-7 標準 1-6 インストレーションのコピー 1-6

う ウィルスチェックソフトウェア ネットワークインストール 2-7 標準インストール 1-3 ウィンドウ、最小化 3-13

**え** エラーメッセージ

ライセンスマネージャ 4-4

### か

, カレントディレクトリ 初期のカレントディレクトリ 1-13 管理者権限 ネットワークインストール 2-7 標準インストール 1-3

# **き** 起動ディレクトリ 1-13

く クライアントシステム MATLAB へのアクセス 2-3 グループライセンス 1-2. 1-3

#### け 権限

管理者 ネットワークインストール 2-7 標準インストール 1-3

**」** 構成、システム 1-4

# **さ** サーバインストール

手順 2-7 サービス ライセンスマネージャのインストール 2-13

#### L,

システム構成 1-4 ショートカット MATLAB のデスクトップ上のショートカット 1-13 シングルユーザライセンスに変換 3-14

新規ライセンスの追加 3-14

**す** スタンドアロンライセンス 1-3

### せ

設定

設定の後で 1-14

**そ** ソフトウェアライセンス使用許諾 1-9

### 0

· ツールボックス ライセンスの変更 3-14 追加 1-19 ツールボックスのライセンス 変更 3-14 追加プロダクトのインストール 1-19

**て** ディレクトリ インストールディレクトリ名の指定 1-10 ディレクトリ構造 インストールの後で 5-2

と ドキュメント インストールオプション ネットワークインストール 2-11 標準インストール 1-11 トラブルシューティング FLEXIm 4-4 MATLABの起動 4-4 インストール中 4-3 ドングル アンインストール 1-18 トラブルシューティング 4-6

**ね** ネットワークインストール 概要 2-2 手順 2-7 設定 2-3

は パーソナルライセンスパスワード (PLP) ネットワークインストールでの指定 2-9 ライセンスナンバーとの比較 1-9 標準インストール 1-3 パーソナルライセンスパスワード (PLP) ネットワークインストール 2-4 標準インストールでの指定 1-9 パスコード ライセンスファイルで暗号化された 3-4 パスワード パーソナルライセンスパスワード (PLP) 1-3

**ひ** 標準インストール コピー 1-6 チェックリスト 1-6 手順 1-6

**ふ** プロダクト 選択 スタンドアロンライセンス 1-9 ネットワークインストール 2-10 追加 1-19 プロダクトの追加 1-19

**ほ** ポート番号 ライセンスマネージャでの利用 3-5 ホスト ID SERVER 行 3-5

ライセンスサーバでの指定 2-6 ライセンスファイル 2-4

#### 

用紙サイズ A4を指定 1-14

ら ライセンス グループ 1-3 スタンドアロン 1-3 タイプ 1-2 トラブルシューティング 4-4 ライセンスファイルの取得 2-6 ログファイルを見る 4-4 管理 3-14 管理ツール 3-8 重要なファイル 3-6 ライセンスサーバ 定義 2-3 ライセンスナンバー 1-4 ライセンスの取得ボタン 2-6 ライセンスの統合 3-14 ライセンスパスワード 1-9 ライセンスファイル インストーラによる処理 2-12 パスの指定 2-12 ライセンスの統合 3-14 暗号化されたコードの不一致 4-4 作成 2-5 取得 2-6 他のアプリケーションと共有 3-6 別々のライセンスサーバを実行 3-6 理解 3-4 ライセンスマネージャ インストールディレクトリ 3-3 インストール手順 2-7 エラーメッセージ 4-4

サービスとしてインストール 2-13 デーモン 3-3

トラブルシューティング 4-4 管理 3-2 記動 3-12 設定 2-3 他のアプリケーションと共有 3-6 ライセンスマネージャの起動 3-12 ライセンス管理 グラフィックユーザインタフェース 3-11 概要 3-3

**り** リモートクライアントアクセス 2-3

**ろ** ローカルクライアントアクセス 2-3 ログファイル ライセンスマネージャ 4-4
